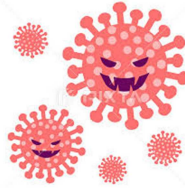




令和4年12月号  
城ノ内中等教育学校  
・高等学校



## 新型コロナウイルス感染症第8波 季節性インフルエンザの同時流行のに備えよう



全国的に新型コロナの感染者数が再び増加し、第8波への警戒が強まっています。県内でも新たな変異株が確認され、11月14日に「とくしまアラート」のレベルが「感染警戒・前期」に引き上げられました。季節性インフルエンザとの同時流行に備えて、私たちができる感染症対策を引き続きしっかりと行い、医療逼迫を招かないための対策をしっかりと確認しておきましょう。

### ●換気の徹底を



#### ★基本的な換気の方法

##### 1)可能な限り常時換気を

教室の窓を閉め切ったままだと、20分で空気が汚染された状態になります。暖房を併用しながら、効果的に換気を行いましょ。

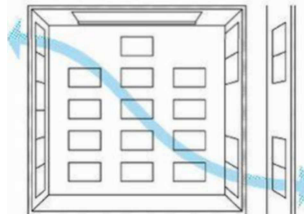
##### <教室の効果的な換気のポイント>

- 教室の上の窓(外側と廊下側)の2方向対角線を10cm程度開放する
- サーキュレーターは教室から外または廊下へ向けて、空気の循環をつくる
- 授業終了後は一斉に窓・扉を全開にし、空気を入れ換える
- 空気清浄機も有効に活用する

##### 2)常時の換気が困難な場合

30分に1回以上、数分間程度窓を全開にしましょう

##### 3)一時的に混雑しやすい廊下や更衣室等の換気も忘れずに!



#### ★CO2マネージャーの活用はできていますか?

各教室に配置されているCO2マネージャーは、教室の空気の汚染状況(二酸化炭素濃度)を知らせてくれます。

二酸化炭素濃度が1,000ppmを超えると教室の換気が必要なサインです。

これからの寒い時期は、教室の温度を保ちつつ効率よく換気をすることが重要となります。音による通知機能も活用して、効果的に換気を行いましょ。

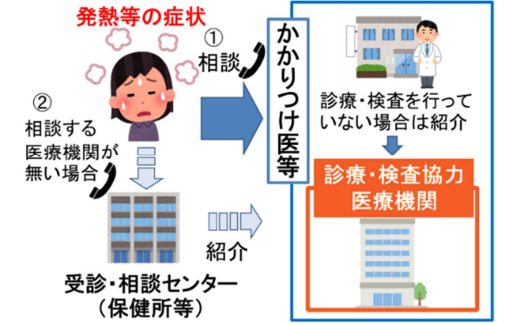


★換気によって教室内が寒いと感じる場合、衣服や膝掛け・カイロ等で保温できるよう準備しておきましょう

### ●もしも発熱したら...

発熱等の症状が出た場合は、まずかかりつけ医等の身近な医療機関に電話で相談し、相談先の案内に従って受診してください。「かかりつけ医」がなく、相談できる医療機関もない場合は、「受診・相談センター」電話で相談しましょ。

「受診・相談センター」(電話 0570-200-218)

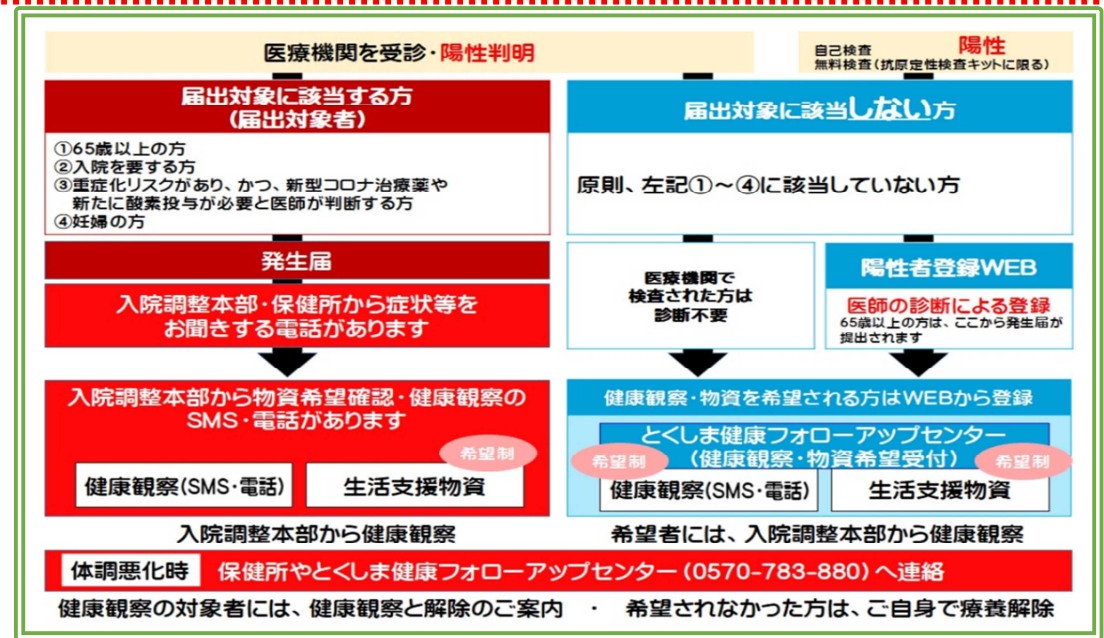


### ●新型コロナにかかった時の対応

抗体定性検査キットを用いた自己検査により陽性が判明した場合、次のような流れで対応することになっています。詳しくは徳島県のホームページで確認することができます。(\*徳島県HPより) また、陽性が判明した場合は必ず学校へも連絡をお願いします。

#### ※新型コロナウイルス感染症の出席停止期間

- 【症状がある場合】→発症日から7日間を経過し、かつ症状軽快後24時間経過した場合、8日目から療養解除
- 【無症状の場合】→検体採取日から7日間を経過した場合、8日目に療養解除



### ●インフルエンザにかかった時の対応

#### ※季節性インフルエンザの出席停止期間

発症した日(発熱した日)を0日とし、発症後5日間を経過し、かつ解熱した後2日間を経過するまで療養が必要

新型コロナもインフルエンザも発熱等症状がよく似ているため、症状が見られる場合は、早めに医療機関に相談し、適切な治療を受けるようにしてください。